

箇所別調書及び理由書（明許繰越しに係るもの）

事項No.	事項	工事番号	工種及び工事概要	河川・路線名等	位置（市町村字名）	支出負担行為計画 示達額（円）	翌年度繰越額 （円）	工事完了 予定年月日	繰越事由				備考
									事由	記号	内容	発生月	
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
		合計				0	0						

（注） 原則（目の細分）ごとに別葉とし、合計を記載すること。目の細分を要しない経費については申請毎にまとめても差し支えない。

担当部署名 : ○○部○○課○○係
 担当者氏名 : ○○○○
 電話番号 : 000-000-0000

■事項ごとの小計

事項No.	事項	支出負担行為計画 示達額（円）	翌年度繰越額	工事完了予定年月日
1		0	0	M33.1.0
2		0	0	M33.1.0
3		0	0	M33.1.0
4		0	0	M33.1.0
5		0	0	M33.1.0
6		0	0	M33.1.0
7		0	0	M33.1.0
8		0	0	M33.1.0
9		0	0	M33.1.0
10		0	0	M33.1.0

1～7行目には行挿入しない。
8行目～合計の一つ上の行までの間で行挿入すること。
不要な行は削除すること。

目の欄がない場合は、「目」を記載すること。一申請の中に複数の目がある場合は、1事項名の目欄のあとに「ほか」と記載してください。

・農林水産省所管の場合「地区・路線・漁港名」
・海防施設災害復旧事業費補助の場合「港湾名」
をプルダウンにて選択すること。

【頁番様式】
記載方法については通常の様式に準ずる。

箇所別調書及び理由書（明許繰越しに係るもの）

既承認済翌債がある場合は前回承認年月日等を記載

事項No.	事項	工事番号	工事種及び工事概要	河川・路線名等	位置（市町村名）	支出負担行為計画示達額（円）	翌年度繰越額（円）	工事完了予定年月日	繰越事由				備考
									事由	記号	内容	発生月	
1	〇〇県に対する令和〇年発生災害に係る河川等災害復旧事業費補助	第27号	橋梁 鋼桁工 L=54m	(主) 〇〇線	〇〇市〇〇	80,000,000	51,000,000	R7.3.31	計画に関する諸条件	イ	湧水	1月	(注) 前回の承認年月日等 令和〇年××月××日付 〇〇第〇〇号
2	××市に対する令和〇年発生災害に係る河川等災害復旧事業費補助	第111号	河川 石積工 L=25m	××川	××市宇〇〇	4,000,000	4,000,000	R7.3.31	用地の関係	イ	価格	1月	
		合計				84,000,000	55,000,000						

(注) 事項や箇所が複数ある場合は、シートを分けて、繰越計算書の順番に記載してください。

工事については、河川・海岸・砂防・道路・橋梁・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設・港湾・海岸保全・水路・林道・漁港施設等の別を記載する。

担当部課名 : 〇〇部〇〇課〇〇係
担当者氏名 : 〇〇〇〇
電話番号 : 000-000-0000

■事項ごとの小計

事項No.	事項	支出負担行為計画示達額（円）	翌年度繰越額	工事完了予定年月日
1	〇〇県に対する令和〇年発生災害に係る河川等災害復旧事業費補助	80,000,000	51,000,000	R7.3.31
2	××市に対する令和〇年発生災害に係る河川等災害復旧事業費補助	4,000,000	4,000,000	R7.3.31